

団地内「風の通り道」の暑熱緩和効果に関する検証分析

A study on verifying the cooling effects of “wind-path” in housing complex

独立行政法人都市再生機構 技術研究所
主査 東城 理恵

キーワード

① 風の通り道

② CFD (数値流体解析)

③ 風環境

UR賃貸住宅シャレール荻窪（東京都杉並区）に整備された「風の通り道」による暑熱緩和効果の定量的把握のため、過年度に実施済みの現地実測データを基に、CFD（数値流体解析）等、風環境及び温熱環境シミュレーションを用いた検証分析を行った。その結果、南北の歩道上では、ピロティが無い場合と比較して、ピロティ出口近傍では風速比が概ね0.2程度上昇し、気温低減効果も最大0.6程度あることが分かった。

また、夏季の暑熱緩和効果の視点から、他団地において参照可能な建物形状の簡易モデルの作成を試みた。